

(4) ②様式第4号-2 (報告書)

NITS・教職大学院等	実施機関：京都市教育委員会 連携機関：京都教育大学大学院連合教職実践研究科 京都市立下京中学校
コラボ研修プログラム	事業名：【NITS・アクティブラーニング連絡協議会 コラボ研修 in KYOTO】
支援事業報告書	研修等名：【NITS・アクティブラーニング連絡協議会 コラボ研修 in KYOTO】 主タイトル：A Lの具体的実践を学ぶ 副タイトル：質の高い授業の実現に向けて
	開催日時：令和4年8月6日 13時30分～16時30分 開催場所：京都市立下京中学校
	参加者：教員49名、教育委員会8名、大学関係者等21名 計78名

内容： ※全体発表の内容をテープ起こしするなど、具体的に記載してください。研修等の様子は、写真を右に貼り付けてください。

本懇談会はコロナ禍を考慮し、会場参加、オンライン参加併用のハイブリッド形式による2部構成で実施した。第1部は京都市立下京中学校、福井アクティブラーニング研究会、岡崎市立新香山中学校、能美市立辰口中学校の実践発表を行った。第2部は、伊丹市立北中学校の中垣教諭・庄司教諭による実践発表をもとに、全体で意見交流を行った。

第1部

○京都市立下京中学校の発表内容

従来の授業改善、教職員研修、カリキュラム・マネジメントの実践をベースにして、今年度さらに生徒自身の学びに重点をシフトした研究内容の報告が行われた。また、評価についても「学びに向かう力、人間性等」の観点について、今年度から進めている実践を具体的に報告した。

○福井アクティブラーニング研究会の発表内容（オンライン）

福井市内の中学校の授業研究をコーディネートする会として、先進的な研究実践を各校で共有し、各校の研究に生かす組織づくりを目指す方向性を示した。同時に、各学校の研究の中核となる教員だけでなく、若手教員も組織化することによって、学校を超えた授業研究のつながりを生むという内容の報告であった。

○岡崎市立新香山中学校の発表内容（オンライン）

総合的な学習の時間をESDの6つの視点で働きかけ、デジタルツールやグループでの話し合い活動を取り入れることで、生徒自身が学習内容、学習方法、資質・能力の伸長を自覚できるような学習展開を研究するという実践の報告が行われた。

○能美市立辰口中学校

ICT活用指導力強化事業モデル校に指定されたことを機に、授業での活用だけでなく、学校行事や生徒会活動、オンライン学習、家庭学習等、生徒の学習活動全般についてICTを軸としたカリキュラム・マネジメントの実践について報告が行われた。

第2部

アクティブ・ラーニング連絡協議会に参加する学校（福井市立明倫中学校、姫路市立白鷺小中学校、京都市立下京中学校）の視察を通して、自校の授業改善・教員の意識改革に積極的に取り組んだ実践報告が行われた。教員研修、教室掲示といった具体的な取り組みをはじめ、数学の授業を例にして授業実践報告なども交えながら、主体的・対話的で深い学びの見られる授業へと改善するための試み、成果と課題が報告された。「質の高い授業」の実現に向け、教職員自身が学びながら共通理解を図り、生徒の学力の底上げに取り組む実践に多くの参加者が刺激を受け、自校での実践を交えた活発な意見交流ができた。中学校の教員が主体的に授業改善に取り組むことの重要性を全体で再確認することができた。

成果： ※参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。

・直前にオンライン参加に切り替えた参加者もあったが、昨年度以上に会場参加が多かったため、発表者は聴衆の雰囲気を感じ取り、熱の入った発表をすることができた。

・オンラインでの参加も可能であったため、全国各地から多くの参加者があった。また、感染拡大により会場参加が難しくてもオンラインで参加することが可能な発表校もあり、全国規模の研修会の活性化につながった。質疑応答の時間を比較的多くのとることができたため、参加者が様々な実践にふれ、有意義な研修会となった。

・研修講師の田村学教授（國學院大學）から、各校・団体の研究についての講評と、新学習指導要領の学習評価についての講演を聞くことができた。特に、カリキュラム・マネジメントの実践と主体的に学びに向かう態度の評価について、分かりやすくご教授いただき、参加者のニーズと合致した有意義な研修となった。

アイデアや工夫したこと：

・各校、団体が重視している研究について詳しい説明が行われ、主体的・対話的で深い学びを実践するに当たってのポイントが整理できる内容であった。

・田村学教授の助言が適宜入り、参加者の疑問等がクリアになるよう、時間設定に留意した。

・会場は感染防止のために、消毒、アクリル板の設置等の対策を講じて研修を行った。

・オンラインではチャット機能で質問や意見を全体で共有するとともに、研修中の事務的な連絡を迅速に行うことができた。また、画面共有することにより、分かりやすい説明や画像提示をすることができた。

＜写真・図など＞ ※会場の熱気や規模がわかる写真、参加者の表情がわかる写真（寄って撮影またはトリミング）を撮影してください。

